

ごあいさつ



平素より気仙沼信用金庫に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当金庫の経営方針や業務内容、財務内容をはじめ、各種地域支援の取組みをご理解いただくため、「気仙沼信用金庫ディスクロージャー2021」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いです。

さて、早いもので東日本大震災から10年の節目が過ぎ、復興も新たなステージへと進みつつあります。

当地域ではインフラ整備が加速し、特に待望であった三陸自動車道、気仙沼湾横断橋の開通は、当地域のみならず三陸地域一円にとって、観光と産業の両面において非常に大きな効果が期待される事業でありました。

然し、昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染拡大により、国内では度重なる緊急事態宣言等が発令されたこともあって、企業業績の悪化や個人消費の落ち込みが見られ、当地域におきましても、震災からの復興が途上の中において、基幹産業である漁業や水産加工業は勿論のこと、観光客が減少し、また、時短営業や外出自粛要請なども重なり、宿泊業や飲食業、小売業をはじめとして、ほぼ全ての業種が厳しい経営を余儀なくされております。

当金庫と致しましては、早々に相談窓口を設置するとともに、取引先全ての事業所を訪問し状況を把握する活動により、必要に応じた金融支援を実施して参りましたし、本年度もその支援は継続し、また、コロナ終息後も見据えて、より一層親身な対応により疲弊した地域経済の回復に全力を注いで参ります。

2020年度には、東日本大震災で全壊した高田支店、内の脇支店の2店舗を移転新築し、残る1店舗、大船渡支店につきましても本年9月にはオープンさせる予定で建設を進めており、店舗網の整備とともに取引先皆様の利便性向上に努めて参りました。

2021年度は、前述のとおり新型コロナウイルスによる地域経済の疲弊から一刻も早く回復できるよう、金融の円滑化と金融仲介機能の発揮により、地域経済の繁栄に寄与して参る所存でございますので、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

2021年7月

気仙沼信用金庫
理事長 菅原 務

